

令和 8 年 度

現地調査あり

業 務 番 号 繰 委 第 5720 号

..... 湯の沢川外砂防施設点検 業務委託

特 記 仕 様 書

1. 設計図書に対して質問がある場合は青森県東青県土整備事務所河川砂防施設課あてに質問書を入札執行日 5 日前の 12 時 00 分までに提出してください。
2. 回答書は入札執行日 3 日前の 12 時 00 分までに FAX で回答します。
(上記 1. 及び 2. の日数には、土日及び祝祭日は含みません。)
3. 回答は、質問書を提出した会社を含め全社に通知します。
4. 質問書提出以外の問い合わせには回答いたしません。
【電話による質問や来所での質問等は、ご遠慮願います。】

..... 東津軽郡 外ヶ浜町 字 平館外 地内

青 森 県 東 青 県 土 整 備 事 務 所

第 1 章 総 則

第 1 条 共通仕様書等の適用

本業務の施行にあたっては、青森県県土整備部制定「測量業務共通仕様書」、「地質・土質調査業務共通仕様書」、「用地調査等業務共通仕様書」によるほか、特記仕様書に基づき実施しなければならない。

共通仕様書と特記仕様書が一致しない条項は、特記仕様書が優先する。

第 2 条 委託業務日数又は履行期限

1. 業務日数 日
2. 履行期限 令和 9 年 3 月 25 日

第 3 条 打ち合わせ等

本業務における打ち合わせは、当初、成果品納入時及び測量作業中とし、3 回とする。測量作業中の打ち合わせは、監督員との協議の上決定する。

第 4 条 測量作業計画

本業務における測量作業計画書は、当初打ち合わせ後、速やかに提出するものとする。

第 5 条 資 料 の 貸 与

貸与する図書及びその他の関係書類は、下記のとおりとする。

令和 7 年度 湯の沢川外砂防施設点検業務委託
令和 6 年度 東青管内砂防関係長寿命化計画調査業務委託

第 6 条 履 行 報 告

受注者は、契約書第 15 条の規定に基づき、履行状況を別に定める様式に基づき作成し、調査職員に提出するものとする。

第 7 条 「参考資料」

特記仕様書の外に提示する「参考資料」は、指名参加業者の迅速な見積もりに対しての一資料であり、委託契約上は拘束力を生じさせるものではないことに留意して下さい。

第 2 章 業 務 内 容

第 1 条 測量作業条件

測量作業条件は、下記のとおりとする。

工	種	作 業 条 件
---	---	---------

1. 目的

本業務は、「青森県砂防関係施設点検マニュアル（令和 3 年 3 月）（以下、「点検マニュアル」という。）」に基づき、施設変状の推移を把握するために年 1 回実施する「定期巡視」を行うことを目的とする。

点検の対象とする施設は、砂防設備とする。

定期巡視は、定期点検で変状が抽出された施設のうち、対策未実施の砂防関係施設について、点検マニュアルに基づき、変状の推移状況を把握するために行うものとする。

2. 業務内容

<共通>

（1）計画準備

計画的かつ効率的な定期巡視の実施が図られるよう、基本的な事項をとりまとめた巡視計画を策定する。

巡視計画には次の基本的な事項をとりまとめる。

各事項の詳細については、「点検マニュアル」の「3. 1 巡視計画」を参照。

・対象区域

・対象施設

・対象項目

・巡視の実施体制

・巡視の時期

<定期巡視>

（1）対象施設

定期巡視は、長寿命化計画対象区域での定期点検に基づく健全度評価結果が「経過観察：B」、 「予防保全：B'」及び「要対策：C」施設のうちの対策未実施の砂防関係施設の変状箇所と、不透過型堰堤（管理、堆積工）の堆砂箇所を対象に実施する。

定期巡視では、定期点検により変状が抽出された箇所、部位、項目について、定期点検時または前回定期巡視時からの変状の推移状況を把握するために調査を行う。

変状の変化状況を把握し、健全度が「予防保全：B'」の施設では健全度を「要対策：C」に変更する必要があるか、健全度が「経過観察：B」の施設では健全度を「要対策：C」または「予防保全：B'」に変更する必要があるかを確認する。

また、平常時出水等による土砂堆積により施設効果が阻害されやすい不透過型堰堤（管理、堆積

工)の堆砂状況について確認する。

定期巡視は、可能な限り積雪前に行うものとする。

<点検調書更新>

(1) 点検結果の記録

対象区域、対象施設の定期巡視の結果を点検調書及び一覧表に記録する。

第2条 提出書類

共通仕様書に定める提出書類のほか、別表に定めるとおりとする。

第3条 支給材料

本業務における支給材料は次のとおりである。

1. 品 名
2. 数 量
3. 品 質・品 等
4. 規 格・性 能
5. 引 渡 場 所
6. 引 渡 時 期
7. 使用方法場所

第4条 そ の 他

- － 1) 完成検査の予定については、実施予定の前月15日までに予定日を調査職員に報告のこと。
- － 2) 受注者は、受注者及び下請負者等に対して暴力団員等による不当介入があった場合は、発注者及び警察へ報告・通報しなければならない。また、警察の捜査上必要な協力を行うものとする。
- － 3) 本業務は、ウィークリースタンス等の実施対象業務である。実施にあたっては、「県土整備部発注設計業務等におけるウィークリースタンス等の実施について」に基づき、受発注者相互に協力し取り組むものとする。

<整備企画課 HP> <https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/seibikikaku/hatarakikata.html>

- － 4) 本業務では、情報共有システムを利用することを原則とする。

なお、システムの利用に適さない場合は、調査職員との協議によりシステム利用の対象外とすることができる。

情報共有システム利用基準 <整備企画課 HP>

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/seibikikaku/hatarakikata.html>

第 3 章 成 果 品

第 1 条 成果品の提出

成果品は共通仕様書で定める他、次のものを提出すること。

1. 報告書

(1) 電子媒体 (CD-ROM)1 部

(2) 紙媒体 (簡易なファイルにとじたもの、図面含む)1 部

2. その他

(1) 現地測量写真集1 部 (報告書電子媒体に含む)

測量業務に関する提出種類一覧表

(1) 契約書に基づいて必ず提出する書類

提出先	名 称	提出期日	部数	条 項
建設管理課	業 務 工 程 表	契 約 後 14 日 以 内	1	3 条
建設管理課	管 理 技 術 者 通 知 書	契 約 後 遅 滞 な く	1	10 条
調査職員	業 務 履 行 報 告 書	毎月1回、調査職員の指定日	1	15 条
調査職員	完 成 届	業 務 を 完 了 し た と き	1	32 条
調査職員	業 務 成 果 引 渡 書	引 渡 の と き	1	32 条
調査職員	請 求 書	引 渡 の と き	1	33 条

(2) 契約書に基づいて必要に応じて提出する書類

提出先	名 称	提出期日	部数	条 項
建設管理課	管 理 技 術 者 変 更 通 知 書	変 更 の 都 度	1	10 条
調査職員	貸 与 品 借 用 書	貸 与 時	1	16 条
調査職員	貸 与 品 返 還 書	返 還 時	1	16 条
調査職員	履行期間の変更請求書	変更を必要とするとき	1	23 条
調査職員	部 分 使 用 同 意 書	発注者が部分使用を請求したとき	1	34 条
調査職員	指定部分に係る（又は、引渡部分に係る）業務完了報告書	設計図書に定められた期日	1	38 条

(3) 仕様書に基づいて必ず提出する書類

提出先	名 称	提出期日	部数	条 項
調査職員	業 務 計 画 書	契 約 締 結 後 14 日 以 内	1	13 条
調査職員	業 務 打 合 簿	そ の 都 度	1	(契)2 条 (仕)11 条他

(4) 仕様書に基づいて必要に応じて提出する書類

提出先	名 称	提出期日	部数	条 項
調査職員	担 当 技 術 者 届	担当技術者を定めた場合	1	10 条
調査職員	担 当 技 術 者 変 更 届	そ の 都 度	1	10 条
調査職員	身 分 証 明 書 交 付 願	必 要 な 時	1	17 条
調査職員	事 故 報 告 書	事 故 が 発 生 し た と き	1	33 条
調査職員	新 技 術 活 用 計 画	NETIS 登録技術の活用を希望するとき	1	39 条
調査職員	活 用 効 果 調 査 票	業 務 完 了 後	1	39 条

測量業務に関する提出種類一覧表

(1) 契約書に基づいて必ず提出する書類

提出先	名 称	提出期日	部数	条 項
建設管理課	業 務 工 程 表	契 約 後 14 日 以 内	1	3 条
建設管理課	管 理 技 術 者 通 知 書	契 約 後 遅 滞 な く	1	10 条
調査職員	業 務 履 行 報 告 書	毎月1回、調査職員の指定日	1	15 条
調査職員	完 成 届	業 務 を 完 了 し た と き	1	32 条
調査職員	業 務 成 果 引 渡 書	引 渡 の と き	1	32 条
調査職員	請 求 書	引 渡 の と き	1	33 条

(2) 契約書に基づいて必要に応じて提出する書類

提出先	名 称	提出期日	部数	条 項
建設管理課	管 理 技 術 者 変 更 通 知 書	変 更 の 都 度	1	10 条
調査職員	貸 与 品 借 用 書	貸 与 時	1	16 条
調査職員	貸 与 品 返 還 書	返 還 時	1	16 条
調査職員	履行期間の変更請求書	変更を必要とするとき	1	23 条
調査職員	部 分 使 用 同 意 書	発注者が部分使用を請求したとき	1	34 条
調査職員	指定部分に係る（又は、引渡部分に係る）業務完了報告書	設計図書に定められた期日	1	38 条

(3) 仕様書に基づいて必ず提出する書類

提出先	名 称	提出期日	部数	条 項
調査職員	業 務 計 画 書	契 約 締 結 後 14 日 以 内	1	13 条
調査職員	業 務 打 合 簿	そ の 都 度	1	(契)2 条 (仕)11 条他

(4) 仕様書に基づいて必要に応じて提出する書類

提出先	名 称	提出期日	部数	条 項
調査職員	担 当 技 術 者 届	担当技術者を定めた場合	1	10 条
調査職員	担 当 技 術 者 変 更 届	そ の 都 度	1	10 条
調査職員	身 分 証 明 書 交 付 願	必 要 な 時	1	17 条
調査職員	事 故 報 告 書	事 故 が 発 生 し た と き	1	33 条
調査職員	新 技 術 活 用 計 画	NETIS 登録技術の活用を希望するとき	1	39 条
調査職員	活 用 効 果 調 査 票	業 務 完 了 後	1	39 条

質 問 書 (全〇枚)

令和 年 月 日

青森県東青県土整備事務所長 殿

住所

氏 名

電話

FAX

業務番号 繰委第5720号

業務名 湯の沢川外砂防施設点検業務委託

[illegible]

*質問がない場合は、提出の必要はありません

※質問書提出以外の問い合わせには回答いたしません。

青森県東青県土整備事務所 河川砂防施設課 (担当：神)

電話 017-728-0293

Fax 017-728-0355

受 領 確 認 書

令和 年 月 日

青森県東青県土整備事務所長 殿

会社名

受領者氏名

電 話

FAX

業 務 番 号 繰委第5720号

業 務 名 湯の沢川外砂防施設点検業務委託

上記工事(業務)の回答書を受領しました。



数量総括表

業務名	湯の沢川外砂防施設点検業務委託				業 種 項 目	測量業務 砂防関係施設点検	
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
砂防関係施設点検		式		1			
砂防関係施設点検		式		1			
計画準備		式		1			
計画準備		式		1			
砂防設備点検		式		1			
定期巡視(砂防)		式		1			
点検調書更新(砂防)		式		1			
共通		式		1			
共通		式		1			
打合せ等		式		1			
打合せ		業務		1			

数量総括表

業務名	湯の沢川外砂防施設点検業務委託				業 種 目	測量業務 直接経費	
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
直接経費		式		1			
直接経費		式		1			
旅費交通費		式		1			
旅費(率計上・宿泊無)		式		1			
電子成果品作成費		式		1			
電子成果品作成費(測量)		式		1			
直接測量費		式		1			
間接測量費		式		1			
諸経費		式		1			
測量業務価格		式		1			

点検調書記入例

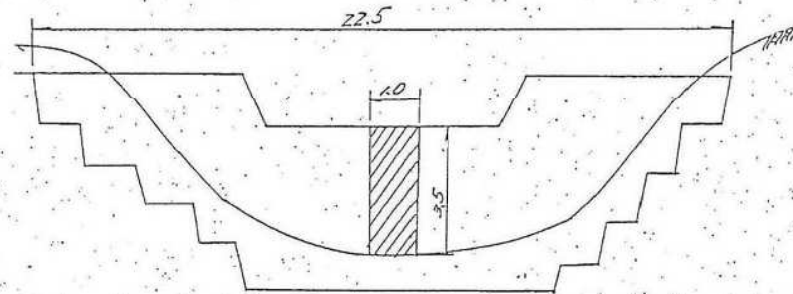
1. 砂防設備点検票（砂防堰堤・床固工）					調査箇所番号		1/2		整理番号		22						
概 要					点 検 総 括												
所管事務所		東青 地域県民局地域整備部			構造物種別		部位		材料		損傷内容		評価		評価した理由		
地 先 名		青森県 東津軽郡外ヶ浜町字平館根岸 地内			沈床工・護床工		護床工		ふとん簞		破損・流出		b		大部分が破損・流出		
河 川 名		湯ノ沢川 水系 湯ノ沢川 支川															
施設あるいは施設群		砂防堰堤 魚道工		施 設 名		湯の沢川堰堤											
告示年月日		昭和 32 年 11 月 13 日		告 示 番 号		建設省 告示第 1411 号											
形 状 寸 法		高さ 6.5 m 堤長 22.5 m 立積 318.2 m ³ 貯砂量 33,000 m ³			対象施設周辺の状況												
着 手		昭和 32 年 月 日		竣 工		昭和 32 年 月 日		上流域で新しい崩壊地（裸地）があるか				無					
事 業 費		1,588,659 円		撮 影		令和 6 年 11 月 12 日		上流域で新しい土砂堆積地があるか				無					
								常時流水があるか				有					
								日常的な維持管理									
流 域 面 積		不明 km ²		本 堤		水通し幅		7.0 m									
		天端幅				2.0 m											
最大洪水流量		不明 m ³ /sec				上流法勾配		1:									
						下流法勾配		1:									
比 流 量		不明 m ³ /sec/km ²				水通し高		m									
						計画水深		m									
管 理 手 法		非管理型（不透過）			調査年度		主施設 変状レベル		副施設 変状レベル		健全度評価		所見：				
					R6		a		b		A		対象区域の健全度を記録する				
					R												
					R												
					R												
摘 要		緯度：41° 09' 25.5" 経度：140° 36' 44.8" 58災102号水通/側壁/水叩/垂直壁/左岸は新設・右岸腹付(t=1.0mH4.0L22.3V375.9) 平成12年度 魚道工事 平成13年3月竣工 工事費 C=22,000,000															
位 置 図 (S=1/25,000地形図より)					全 景 写 真												
																	

2. 構造図及び写真位置図

河川名	湯ノ沢川(本川)
告示年月日	5.32.11.13
告示番号	1.4.11
延長	550×20(M)
面積	5.1(HA)

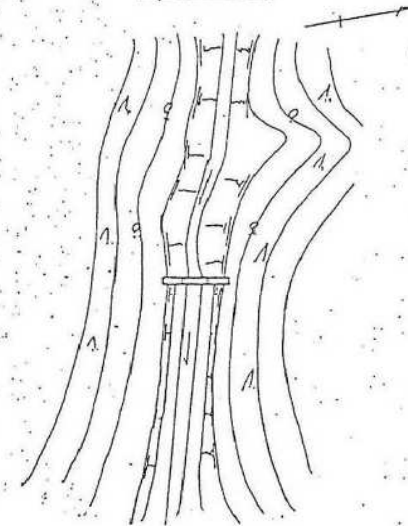
工作物の構造図

正面図

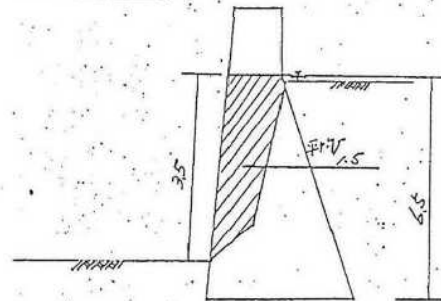


点検年月日	5 年 月 日
点検担当者印	

平面図

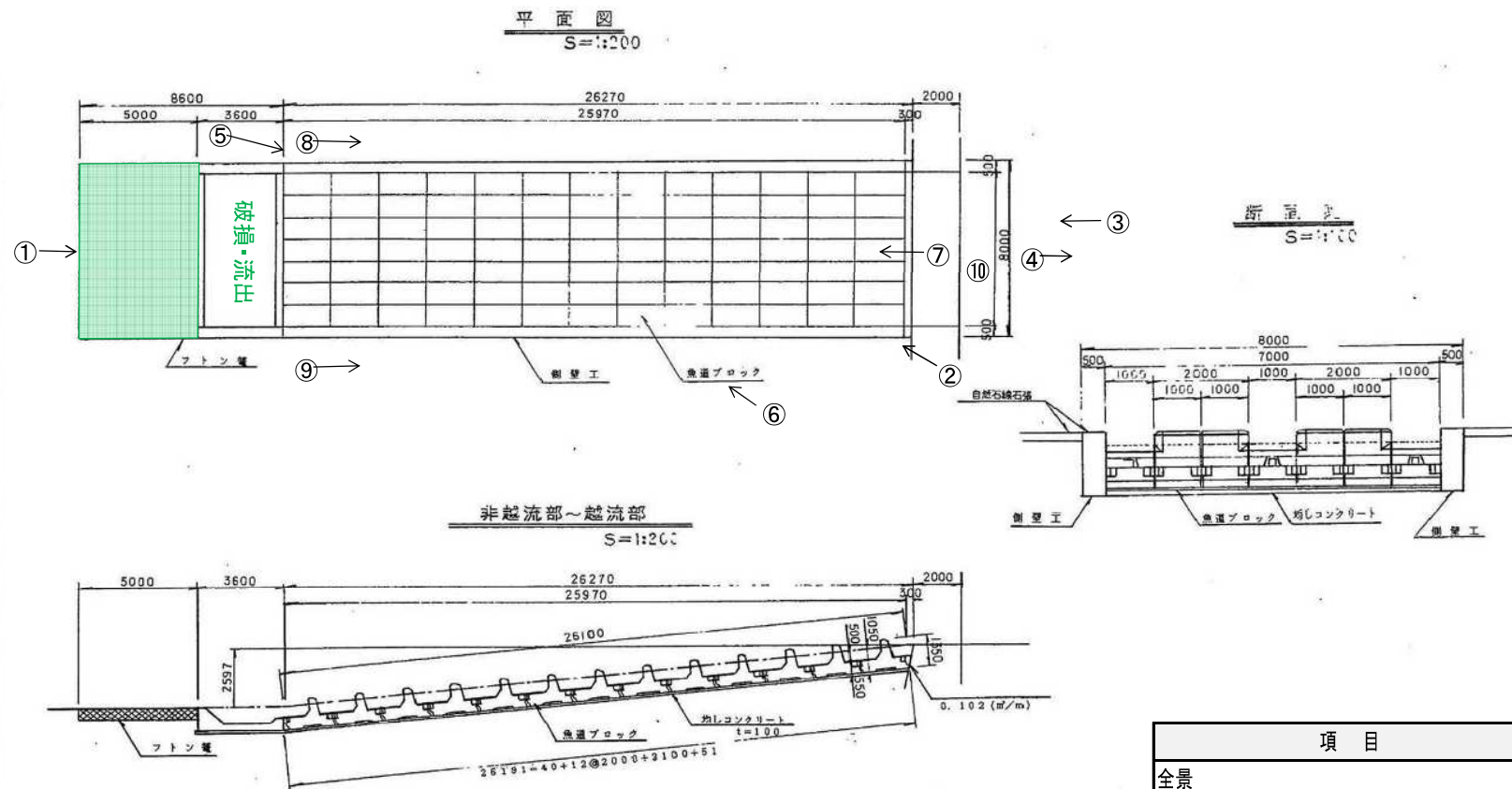


側面図



項目	写真番号
全景	P1、2
全景(上流から)	P2
堤体上流面状況	P3
越流部状況	P5~7
その他の写真	P8~10
定期点検で確認された変状レベルb・cの写真	P11

2. 構造図及び写真位置図



項目	写真番号
全景	P1、2
全景(上流から)	P2
堤体上流面状況	P3
越流部状況	P5～7
その他の写真	P8～10
定期点検で確認された変状レベルb・cの写真	P11

3. 砂防設備（砂防堰堤・床固工）点検記録簿

名称	湯の沢川堰堤					点検	年月日	令和 6 年 11 月 12 日				
河川名	湯ノ沢川 水系 湯ノ沢川 支川						点検組織	有限会社 朋友計画				
所在地	青森県 東津軽郡外ヶ浜町字平館根岸 地内						点検者	三國 浩				
整理番号	22	型式	重力式C		構築材料	玉石コンクリート	完成年月	昭和 31 年 月				
点検箇所	点検項目	変状の有無	測定方法	判定※1	定期巡視の点検結果		詳細な状況					
		有	無									
1) 本堰堤												
主	水通天端	破 損	目視	a	R	R	R	R				
		摩 耗	目視	a								
	袖部	石積(欠損)	目視	a								
		亀 裂	目視	a								
		破 損	目視	a								
		石積(欠損)	目視	a								
	堤体	亀 裂	目視	a								
		漏 水	目視	a								
		変 位	目視	a								
		石積(欠損)	目視									
		鋼製(変形)	目視									
		鋼製(腐食)	目視									
基礎地盤	洗 掘	目視	a									
2) 副堰堤（垂直壁）												
副	水通天端	破 損	目視									
		摩 耗	目視									
	袖部	石積(欠損)	目視									
		亀 裂	目視									
		破 損	目視									
		石積(欠損)	目視									
	堤体	亀 裂	目視									
		漏 水	目視									
		変 位	目視									
		石積(欠損)	目視									
		3) 基礎地盤（本堰堤を除く）										
		副	洗 掘	目視								
4) 側壁護岸工												
副	側壁本体	変 位	目視									
		亀 裂	目視									
		石積(欠損)	目視									
5) 水叩工												
副		破 損	目視									
		摩 耗	目視									
6) 沈床工・護床工												
副	護床工	破 損	目視	b					フトン竈破損			
		流 出	目視	b					フトン電流出			
		沈下浮上	目視									
7) 地山取付部												
副		崩 壊	目視	a								
		間 詰 工	目視									
8) 安全設備（立入防止柵・扉・鍵・階段等）												
		損傷・変形・腐食・劣化	目視									
9) 堆砂域												
		堆 砂 状 況	満砂 未満砂	水通しから 0.0 m								
【特記事項】												
堤体全面は全面魚道工が施工済みであり、堰堤は袖部・水通し部が見られる。												

該当箇所の変状レベルを確認し記録する

土石流危険渓流の指定状況	指 定 区 分	渓流番号	該当の有無
	1. 土石流危険渓流Ⅰ		有 ・ (無)
	2. 土石流危険渓流Ⅱ		有 ・ (無)
	3. 準ずる渓流		有 ・ (無)
土砂流送形態	渓床勾配：1＝1/50	(掃流) 土石流(対応済) ・ 土石流(未対応)	
点検項目	設置状況	詳細な状況	測定方法
10) 標識設置状況			
砂防指定地標識	無		目視
砂防指定地標柱	無		目視
砂防設備標識	無		目視
土石流危険渓流標識	無		目視
11) 侵入防止柵設置状況			
左岸	無		目視
右岸	無		目視
12) 侵入防止鍵設置状況			
左岸	無		目視
右岸	無		目視
13) その他安全設備			
	無		目視
14) 管理用道路			
管理用道路	無		目視
15) 付帯施設（魚道工・その他（ ））			
魚道工 流水・土砂堆積	無		目視
その他（ ）			目視
【特記事項】			
魚道施設に転石を含んだ土砂の堆積が見られる。			

※1 判定基準

変状レベル	損傷等の程度
a	当該部位に損傷等は発生していないもしくは軽微な損傷が発生しているものの、損傷等に伴う当該部位の性能劣化が認められず、対策の必要がない状態
b	当該部位に損傷等が発生しているが、問題となる性能の劣化が生じていない。現状では対策を講じる必要はないが、今後の損傷等の進行を確認するため、定期巡視点検や臨時点検等により経過を観察する必要がある状態
c	当該部位に損傷等が発生しており、損傷等に伴い、当該部位の性能上の安定性や強度の低下が懸念される状態

5. 進行性確認（変状レベルb及び変状レベルc）

調査箇所番号	1/2	整理番号	22
--------	-----	------	----

構造物種別	部位	損傷内容	定期点検 実施年度	定期巡視 実施年度				
			令和 6 年 11 月（定期点検）	令和 年 月（定期巡視1）	令和 年 月（定期巡視2）	令和 年 月（定期巡視3）	令和 年 月（定期巡視4）	
沈床工・ 護床工	護床工	破損・流出						
			評価： b	評価：	評価：	評価：	評価：	
			定期巡視時における 経年変化に対するコメント					
			評価：	評価：	評価：	評価：	評価：	
			定期巡視時における 経年変化に対するコメント					
			評価：	評価：	評価：	評価：	評価：	
			定期巡視時における 経年変化に対するコメント					
			評価：	評価：	評価：	評価：	評価：	
			定期巡視時における 経年変化に対するコメント					

定期点検から抜粋した損傷箇所の進行性を確認する。写真撮影は定期点検と同じ位置とし損傷箇所の進行性が分かりやすいようにする。

変状レベルの再評価を行う。

経年変化に対するコメントがあれば記録する。